

2018年4月～2028年3月



～ 明日をつくる 仲間たち ～

2018(H30)年4月



社会福祉法人 ひかり福祉会

～わたしたちのめざすもの～

(1992.2.29策定)

私たちは、障害者や家族のねがいをもとに、すべての人がひとりのもれもなく、健康でいきいきと働き、生きがいある暮らしを安心しておくることができることをめざし、共同の事業として進めていきます。

私たちは、仲間たちが育ちあえるために、すぐれた理論に学び、計画的に実践を進め、実践の成果や教訓を明らかにして、実践を向上させるために不断に努力します。その成果を広く地域や社会に返していくように努めます。

私たち、ひかり福祉関係者は、こころひとつにして事業を進めます。そのために、誰もが自由に意見を出し合えるようにし、少数意見も尊重し、ガラス張りの運営を心がけ、発展させていきます。

私たちは、障害者が地域の中でゆたかにくらせるように、理解ある団体・個人と力をあわせ、障害者の権利をまもり発展させるために、制度や施策の充実をはかり、地域の社会資源として役割を果たします。

【経営理念】

ひかり福祉会は、すべての人のしあわせを考え、
障害のある人、一人ひとりが“ひかり”、“かがやく”
よりよい社会を創造していくことをめざします。

■障害のある人・その家族のみなさんの笑顔を育む■

障害のある人やその家族の願いやニーズをもとに、
わたしたちは、人として生きていくことをまもり発展させる
社会福祉をはじめとする事業をすすめます。

■地域のみなさんの笑顔を育む■

障害のある人にとって優しい街は、
すべての人が安心・安定して暮らせる街であり、
わたしたちは、障害のある人にとって優しい街づくりをすすめます。

■職員の笑顔を育む■

みんなの笑顔を育むのは、わたしたち職員の笑顔があふれること。
わたしたち職員一人ひとりが“ひかり”、“かがやく”主人公になります。

目 次

第6次将来計画あいさつ

社会福祉法人ひかり福祉会 理事長 高橋信二	1
-----------------------------	---

社会福祉法人ひかり福祉会 第6次将来計画

1. “めざすべき” 方向性	5
2. 基本スタンス	
3. 第1次将来計画から第5次将来計画までの主な内容・	6
4. 第5次将来計画 到達(成果)と積み残し課題	
5. 実施期間	7
6. 4つの柱	8

資料編

アンケート結果	11
ひかり福祉会 事業所一覧	32



第6次 将来計画の策定にあたって

社会福祉法人ひかり福祉会
理事長 高橋 信二

社会福祉法人ひかり福祉会第6次将来計画の発表にあたり一言ご挨拶申し上げます。

ひかり福祉会（以下、「法人」という。）は、障害のある人の利用出来る施設がなかった湖北長浜で「ひかり園作業所」が産声をあげたのを皮切りに、一昨年法人創設40周年を迎えました。現在では湖北、湖東圏域で就労支援やグループホーム、また各種相談支援等21の事業を展開するに至っております。

事業展開のベースは、『労働市場における障害者の社会的地位の向上と、誰もが笑顔で暮らせる幸せの見える共生社会の実現』であり、職業並びに生活面におけるリハビリテーションを各種相談活動とつなげていく事業に取り組んできました。

さて、法人が歩んで参りました40年は、日本社会が世界的規模のグローバル化の中で大きく変化した時期でもあります。言い換えれば社会の構造に大きな変化がもたらされた時代であったと言えます。

市場の成熟化と多様化がすすみ、ITなど科学技術も大きく進展して参りました。一方で少子高齢による人口減少は我が国の将来に大きな変化を余儀なくされ、時に混乱を招く事が想定されています。何よりも人口減少がすすむことで社会の支え手が不足することです。

法人を取り巻く経営課題は多様性を増し、いずれをとっても従来の延長線上では対応出来ないことは明らかです。経営環境が劇的に変化する中で法人も小手先の改善に終始することなく構造的に変化していくとともに、事業の方向性を示し、労働環境の整備に取り組むことで職員の不安を取り除き高い志気のもとに自発性が発揮される状態を創り出すことが求められます。

そういう意味では、法人の進むべき方向を明確な指針として示すことが求められているのです。

今般お示しした第6次将来計画は、理念の実現に向け向こう10年のビジョンを示した「未来への架け橋」です。架け橋の橋脚は「理念」であり、橋の形状が「事業」です。関係各位のご指導ご鞭撻を賜りますよう発刊に当たりお願い申し上げます。

第6次将来計画



人が“育つ”
人が“集う”
(人材育成・人材確保)

専門性の
高い
“実践”を
(機能分化)

“経営理念”
をみんなの
ものに…
(組織強化)

安心して
働ける
法人に…
(財政再建)

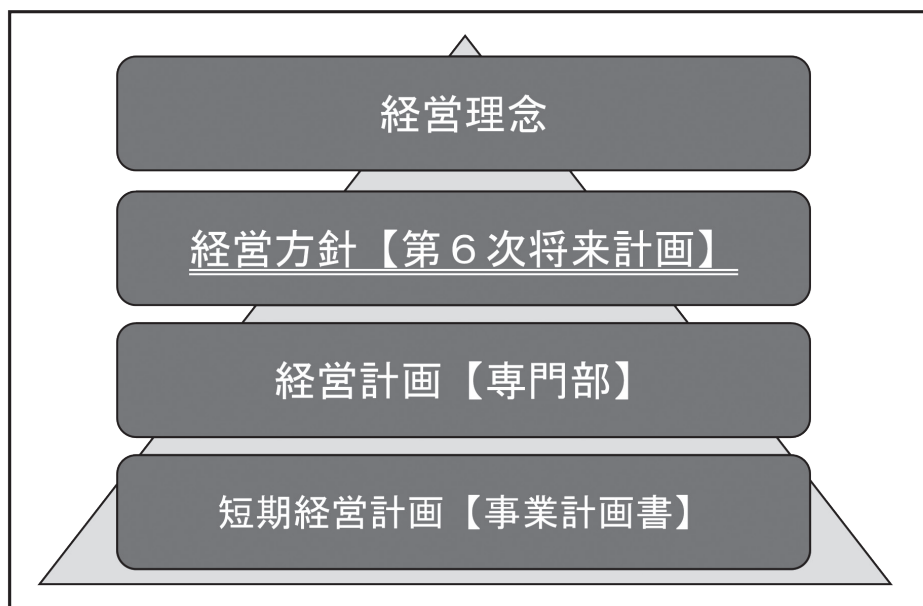
● 基本方針(4つの柱) ●

社会福祉法人 ひかり福祉会

第6次 将来計画

【基本方針】

1 “めざすべき” 方向性



2 基本スタンス

2000 (H12) 年5月に「社会福祉の増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律 (以下、社会福祉法基礎構造改革)」の成立に伴い、それまでの措置費制度から利用契約制度へ…応能負担から応益負担に、また営利企業が参入できるようになるなど、その後の障害者自立支援法、現在の障害者総合支援法の基となる法律が施行されてきた。そして2016 (H28) 年3月31日には改正社会福祉法が成立・同日公布され、職員の身分保障にかかわる共済制度や経営組織の見直し、財務規律の強化など既存の社会福祉法人の運営・経営に大きな悪影響を及ぼす法が施行されることとなった。

しかし一方で、この間、障害者権利条約や障害者差別解消法が施行されるなど、利用者・家族や私たち関係者にとって明るい話題が全く無かったわけでもなく、今後は利用者や家族の願い実現に向けた運動を積極的に進めていく必要がある。

こうした障害福祉情勢が刻々と変化していく中で、今後のひかり福祉会 第6次将来計画の策定にあたり、これまで課題であった障害のある高齢者への対応、日中支援事業所・生活支援における機能分化、人材育成 (人材確保)、施設整備 (ハード面) においては湖東圏域拠点整備事業の整備・たんぼぼ作業所の老朽化への対応、グループホーム整備 (統合) 課題に向けた財政計画の立案などを中心に本格的に議論していくとともに、利用者・家族にアンケート調査を実施したうえで、意見を集約・分析し、第5次将来計画の中で積み残し課題となった計画の対応とともに以下の視点に沿って、障害のある人が生まれ育った地域で“働くこと”、“暮らすこと”を支えることを検討し、豊かな地域生活が育めるような今後のひかり福祉会の10年計画を推進させていく。

3 第1次将来計画から第5次将来計画までの主な内容

	期 間		事業数 (ヶ所数)	利用者【ホーム】 (登録者数)	主な実施事業
第1次	10ヶ年	1988.4～1998.3	2事業	60名	ハード面の整備 (事業所・ホーム)
第2次	5ヶ年	1998.4～2003.3	9事業	135名【13名】	精神障害者通所授産施設の設置
第3次	5ヶ年	2003.4～2008.3	20事業	214名【26名】	新事業体系への移行・検討
第4次	5ヶ年	2008.4～2013.3	30事業 (16ヶ所)	211名【30名】 (352名)	ホームの整備 新事業体系への移行・実施
第5次	5ヶ年	2013.4～2018.3	36事業 (22ヶ所)	243名【41名】 (1,073名)	居宅支援事業の整備

4 第5次将来計画 到達(成果)と積み残し課題

【到達】

❖暮らす(育つ)

- ①びわ、どんぐりホーム統合 ⇒ かざぐるまホーム改修および定員増
- ②居宅支援事業所 事業開始(2015.10月)
- ③「ショートステイとまと」の休止および「ショートステイはたる」の開設

❖事業継続(守る)

- ・広報「かがやき」定期発行
- ・ひかり福祉会40周年記念式典

【積み残し課題】

❖暮らす(育つ)

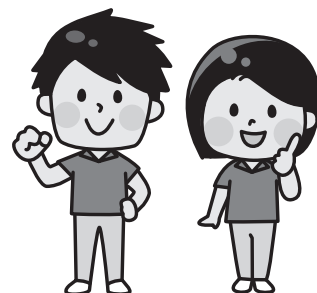
- ①長浜里の家移転

❖働く(太る)

- ・B型事業所 (2013年度)平均工賃：18,000円
※(2017年度)平均工賃：40,000円
- ・ワークセンター絆等の整備
- ・彦根地域拠点整備事業
- ・たんぽぽ作業所 整備事業

❖アクティビティ(輝く)

- ・高齢者プログラム
- ・心理士の配置
- ・行動障害等実践プログラム



❖運動（耕す）

・署名活動（2013年度）署名数：30,000筆 ※（2017年度）署名数：50,000筆

❖地域づくり（奏でる）

・後援会（2013年度）会員：600名 ※（2017年度）会員：750名

・賛助会（2013年度）賛助会員：600名 ※（2017年度）賛助会員：750名

❖財政活動（油る）

・事業受託

5 実施期間

❖2018（H30）年4月～2028（H40）年3月 計：10年計画

※第6次将来計画は、10年計画とするが定期的に見直し、再構築化を行う。

①第一期：2018（H30）年4月～2021（H33）年3月 計：3年

②第二期：2021（H33）年4月～2024（H36）年3月 計：3年

③第三期：2024（H36）年4月～2028（H40）年3月 計：4年

	事業計画（重点課題）	優先課題（ハード面）	優先課題（ソフト面）
第一期【1～3年】 H30年度～H32年度	・第5次将来計画の積み残し課題の推進を第一義に考え、同時並行で「第6次将来計画」の具体的な内容（5部会）の集約を行うとともに、事業全体についての「見直し」や「修正」、「拡充」を進めていく。 ・専門職の人材確保や法人の将来を担う人材育成を進める。	・ひこねなでしこホーム（移転整備） ・湖東圏域拠点整備事業 ・長浜里の家移転 ・米原堂の家 ・敷地内ホーム建設	・経営理念、めざすもの（改訂検討） ・機能分化（統廃合多機能の解消） ・研修制度（キャリアパス）の確立 ・将来計画の本格推進計画の検討
第二期【4～6年】 H33年度～H35年度	・第6次将来計画の本格推進期間として位置付けて取り組んでいく。 ・社会福祉の動向に対応した実践・経営・運動を進める。 ・各圏域における障害者計画の推進状況やニーズを把握し、事業を展開する。	・たんぼぼ作業所 整備事業検討会 ・ワークセンター絆、ひかり園（B型）等の整備事業検討会	・機能分化（事業の再編）
第三期【7～10年】 H36年度～H39年度	・情勢を鑑み、ひかり福祉会創立50年に向けた記念事業を検討する。 ・計画の目標達成への手立てを講じると共に、最終期として計画の達成に向けて取り組みを進めていく。 ・10年の総括を行い、第7次将来計画の検討作業を行う。		・法人創立50周年記念式典 ・第7次将来計画 推進計画議論

6 4つの柱

(1) 人材育成、人材確保

■法人の“将来”を担う職員の育成

- ①人材育成の基本となる日々の実践力の向上と職員集団での実践論議を位置付けていく
- ②専門職の人材確保を進める
- ③外部機関との連携、他団体主催の研修会への積極的な参加を行い、さまざまなところとの“つながり”を強固にしていく
- ④利用者・家族のニーズ、地域のニーズに応える実践を展開していくためにも、“運動”に対する捉え方を見つめ直し、積極的に参加をしていく（きょうされんなど）

(2) 機能分化（障害種別等に合わせた専門的な支援の提供）

■障害種別、年齢に応じた専門的な支援を実施

- ①働くことを基本にしつつも、重度・高齢利用者に対して「生活リズムの安定および充実した日々」が送れる支援を実施
- ②B型事業所の平均工賃を増やすことにより所得保障を確立していく。また将来的にはA型事業所や一般就労へとつながる実践を行う
- ③事業所やホームの機能を明確にすることで事業所の統廃合、移転を進めていく

(3) 組織強化

■経営理念の共有化を図り、理念に沿った事業計画・実践を展開していく

- ①地域との連携・交流の場に取り組むことで、障害者福祉の情勢や現状、実践内容を啓発していく
- ②組織力を上げていくためにもコミュニケーションの強化、働く者としての心構え、日々の取り組みが牽制できる関係を構築していく
- ③「経営理念」と「めざすもの」の共有化（※改訂も含んだ検討を行う）

(4) 財政再建（法人経営基盤の強化）

■報酬改定や加算制度に左右されない安定した経営を目指す

- ①財務状況を明確にしていくことで、全職員が“経営”を意識した取り組みを進める
- ②法人支援団体（後援会）との連携強化
- ③法人経営・運営の分析を日常的に進め、安定した収入を得るための政策立案を行う

❖第一期（3ヶ年）具体的計画

■はたらき支援部、いきがい支援部

- ①各事業所の機能を明確化し、利用者の障害特性・ニーズに合った労働を提供していく
 - ・就労継続B型事業においては、障害（基礎・厚生）年金と工賃を合わせた額で生活が見通せる工賃の保障を行う

- ・生活介護事業に関しては、工賃保障を第一義に置くのではなく、より充実した社会生活が営めるよう高齢障害者への支援、重度重複・強度行動障害者への専門的な支援を確立させていく

②専門的な支援が必要な発達障害・難病・高次脳機能障害・引きこもりの人たちのニーズに応える

■くらし支援部

①働く障害者を応援する暮らし

- ・ホームでは働く力を再生産する居場所とし、自立に向けた支援の実施

湖北：男性 1、女性 2 計3ホーム

彦根：借家ホームは統廃合し、法人の基本財産のみとしていく

※高齢入居者は介護保険事業所への円滑な移行をめざし、橋渡しを推進

②暮らしを支える担い手を育てる（人材育成）

- ・日中、暮らしと多角的な視点に立ち実践を進める

③生活介護事業所と連携し、多様なサービスで利用者ニーズに応える

- ・日中一時支援事業を彦根圏域の事業所でも実施

■ねがい支援部

①人材育成・確保

- ・相談業務に携わる人材育成を計画的に実施する

②資質向上

- ・相談業務における基本的な考え方を堅持し、当事者・家族・地域と真摯に向き合い、常に自己研鑽しながら丁寧な実践ができる資質を身につける

③広域事業としての地域での役割

- ・地域課題を把握・分析し、自立支援協議会の活動を通して、社会資源・サービスの開拓や施策化を地域連携のもと行う

■ちいき支援部

①支援者（ヘルパー）の確保と育成

- ・常勤ヘルパーの配置を基本として、支援体制の安定を図る
- ・利用者ときちんと向き合える支援者となる
- ・長浜地域の事業拡大（現在の2倍）向け、常勤ヘルパーを中心に事業展開を行う

②支援者のスキルアップと支援者ケアの視点

- ・スキルアップ（介護技術・対人援助技術の研鑽）を行うことでより良い支援を提供する
- ・並行して支援者ケアの環境を整備する

③財政の安定と地域資源としての役割

- ・事業を拡大することで、財政の安定化を図り、地域に安定したサービスを提供していく

④行動援護事業の拡大

■法人事務局

①人材育成・確保

- ・管理職の段階的な育成
- ・支援員としての心構え・障害の知識・各福祉サービスの学習

②財政健全化

- ・財政計画の作成
- ・単年度赤字の解消

●短期的：定員の充足・出勤率の上昇・人員配置の見直し

●長期的：事業所の機能強化・機能分化

③職場環境の改善

- ・情報の共有・自己啓発・内部牽制ができる組織づくり・メンタルヘルスの充実

④5S活動の充実

資 料 編

ひかり福社会【第6次将来計画】
アンケート結果報告書

2017（平成 29）年度

アンケート概要

1. アンケートの目的

今回のアンケートは、日中支援事業所をはじめする「ひかり福祉会」の事業所を利用されている方を対象として、現在の生活状況や意見や要望等をお聞きし、2018（H30）年4月（10ヶ年計画）からスタートする『ひかり福祉会 第6次将来計画』策定のための基礎資料とすることを目的に行いました。

2. 調査方法等

- ❖ 調 査 対 象 者：ひかり福祉会の事業所 利用契約者
- ❖ 調査票の配布・回収：事業所配布・事業所回収
- ❖ 調 査 基 準 日：2017（H29）年07月01日
- ❖ 調 査 期 間：2017（H29）年07月12日（水）～24日（月）

3. 回収結果

- ❖ 配布者数：265名
- ❖ 回答者数：140名
- ❖ 回 答 率：52.8%

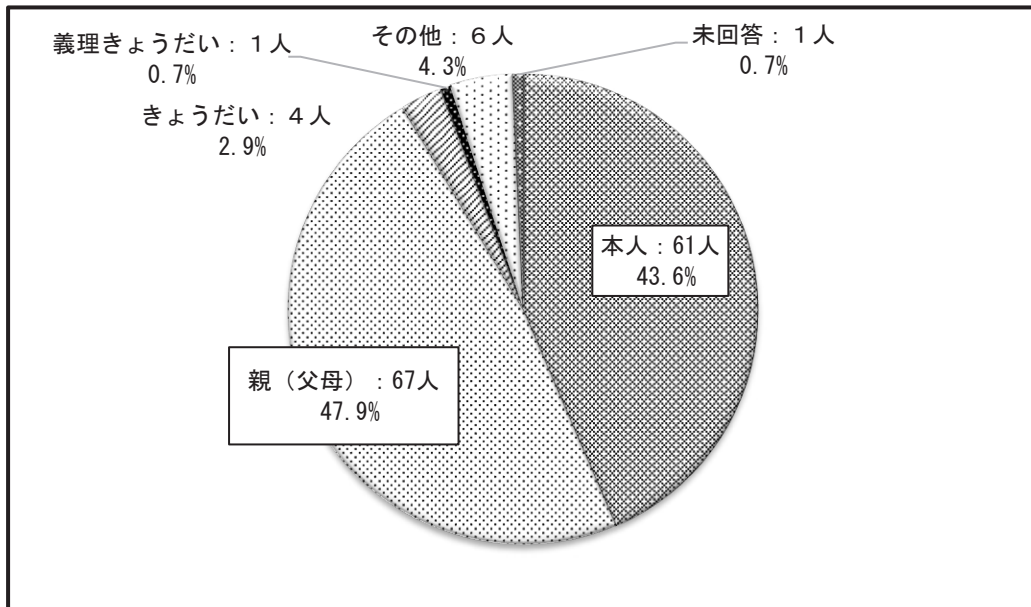
4. 調査にあたって

- （1）回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しています。
そのため複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えております。
- （2）回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しております。
- （3）自由筆記の回答については、内容を損なわない範囲で要約して表記しているものがありますのでご了承ください。

アンケート結果

0. 回答者

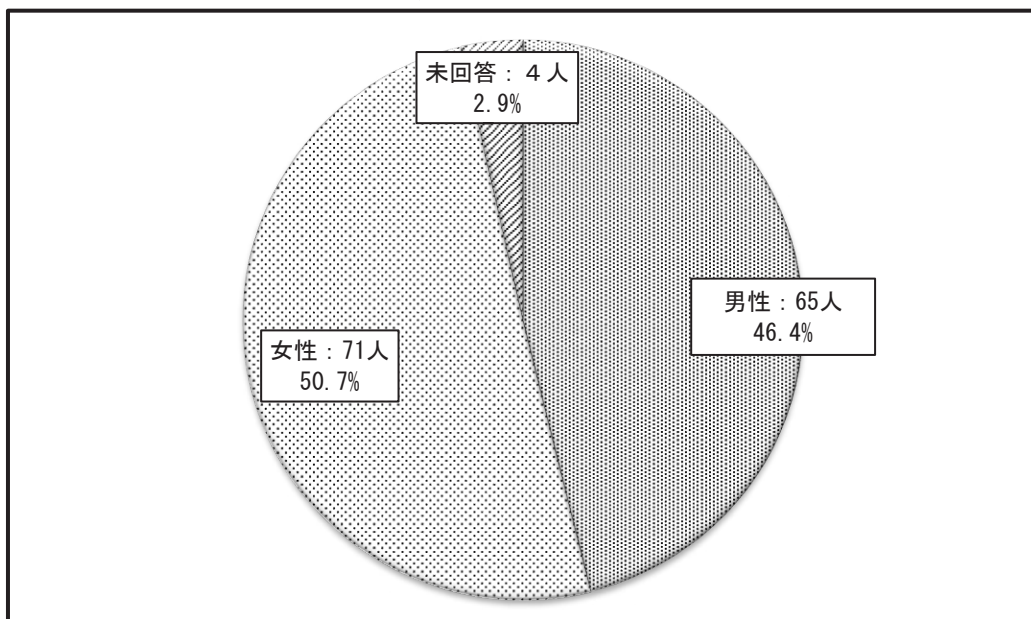
回答者の割合は、本人と親（父母）で全体の9割となっております。なかでも親（父母）に関しては47,9%となっていることから、親（父母）が支援の中心となっていることが見受けられます。

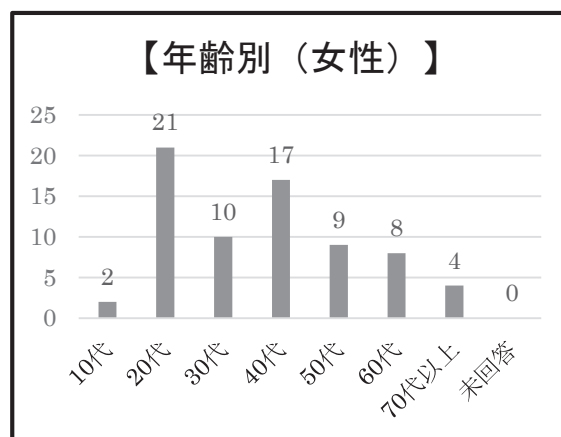
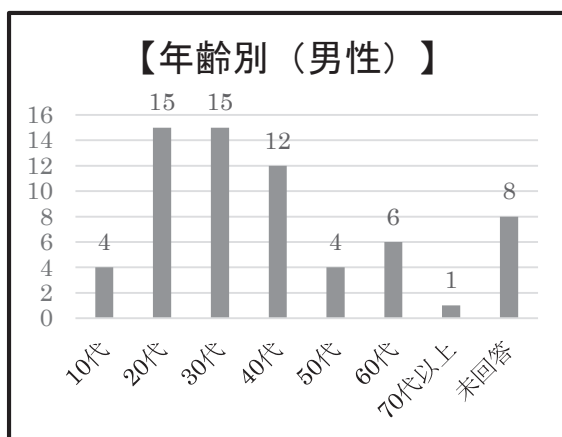


1. （障害のある）本人について

（1）利用者の性・年齢別

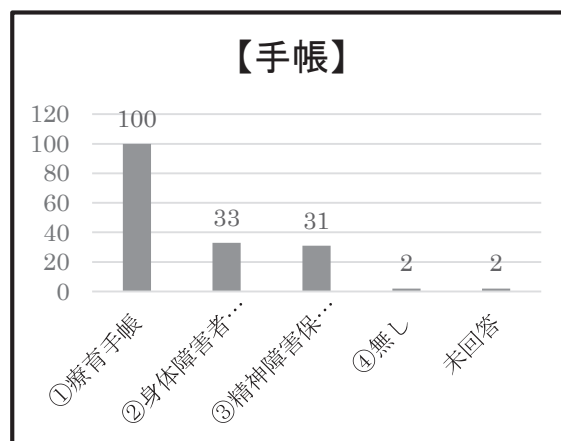
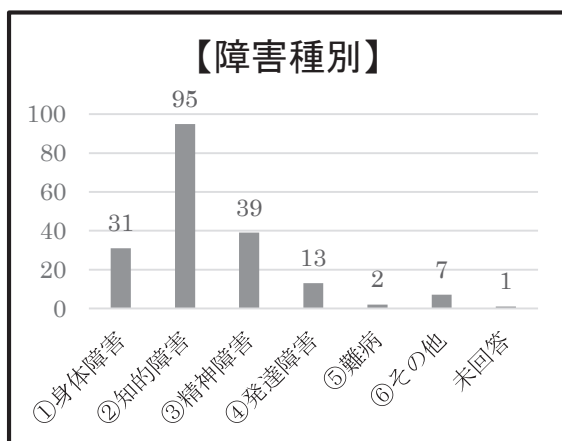
全利用者からの回答ではないため正確ではないですが、法人内事業所を利用されている方の性別は、ほぼ半数となっています。





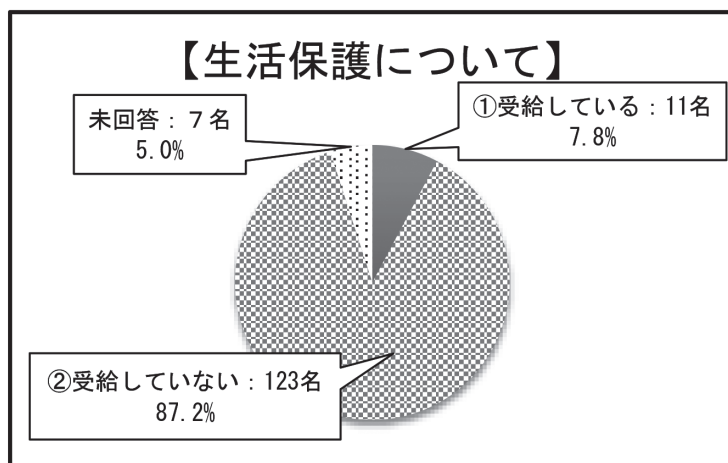
年齢層としては男女ともに 20～40 代の利用者が半数以上を占めています。
 また 70 歳以上だけでなく 60 歳以上で考えると全体の 14%とアンケート結果からも徐々に高齢化率が高くなりつつあることが伺えます。

（２）障害種別・手帳の有無（複数回答有）

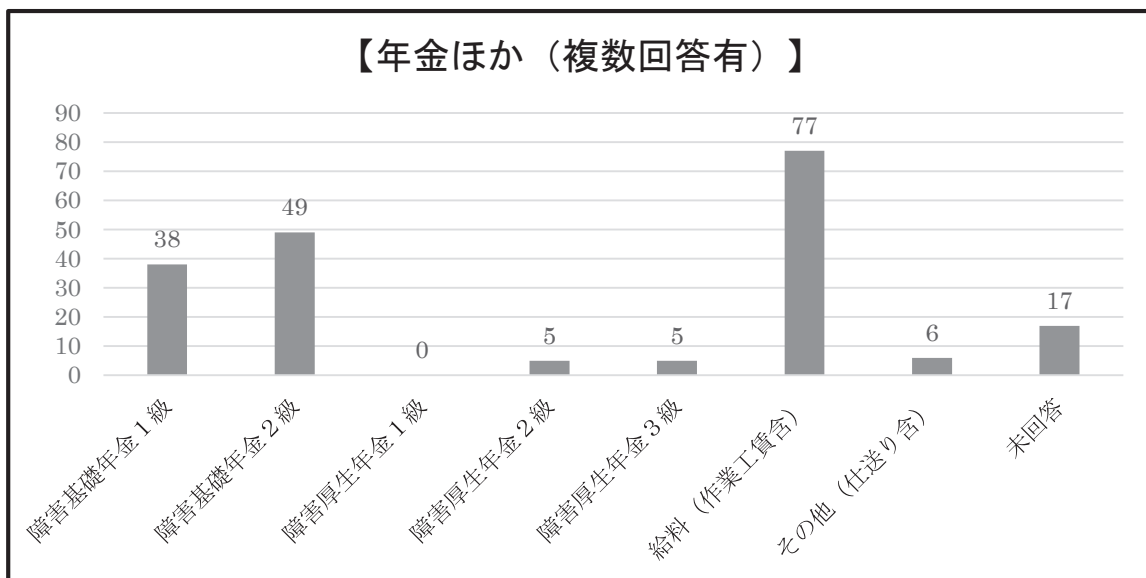


利用されている障害種別としては「知的障害」のある方が多く、グラフには記載されていませんが、重複障害のある方が 30 名と全体の 21.4%と 1/5 の方が異なる複数の障害があると回答されていました。

（３）収入について



生活保護費を受給されている方は、アンケート回答者の中でも 1 割に満たない人数で、受給額としては…
 “最少額： 10,000 円”
 “最大額： 100,000 円”
 と幅があるようでした。



7割近い方が障害基礎年金もしくは障害厚生年金と事業所からの給料（作業工賃）を貰っていると回答されていましたが、残り3割の方は障害年金を受給されておらず、事業所での給料収入のみとの回答をされていました。

【障害厚生年金額】

❖障害厚生年金2級： 64,941～123,000 円

❖障害厚生年金3級： 10,800～ 70,000 円

【給料（作業工賃含む）】

❖一 般 就 労 者： 約 100,000 円

❖B 型 事 業 所： 約 2,000～50,000 円

❖生活介護事業所： 約 1,500～ 6,000 円

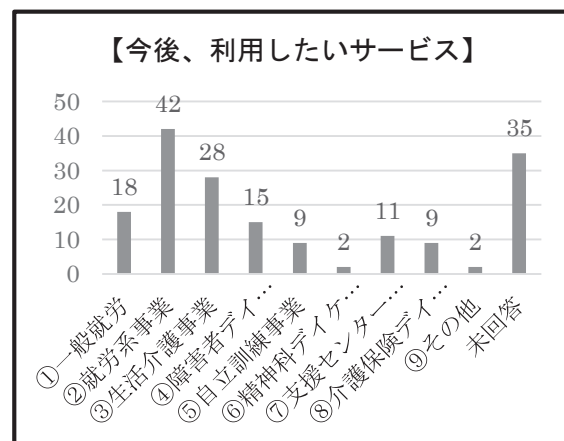
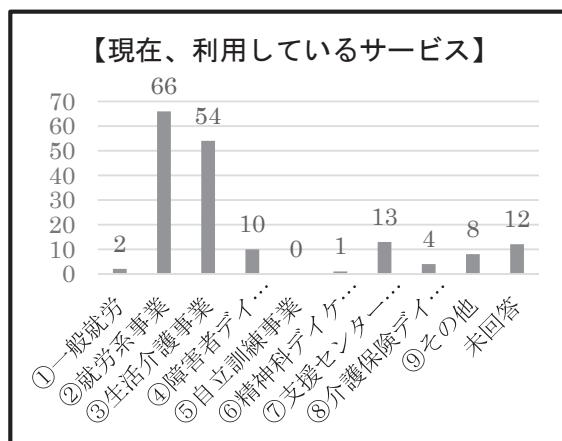
事業所からの工賃に関しては、出勤率や事業所によつての支給（計算）方法が異なっているため一概に平均金額を示すことは出来ませんが…

B型事業所では平均 17,000 円前後、生活介護事業所では平均 5,000 円に満たない金額が工賃となっていると思われます。

これまでから、障害（基礎、厚生）年金と事業所の工賃で生活できる所得保障を目指して実践を進めてきていますが、まだまだ年金と工賃で約 100,000 円以上の所得を得ている方は少ないのが現状です。

2. 福祉サービスについて（複数回答有）

（1）日中活動の場



基本的には、現在、利用しているサービスを利用できる間は、今後も利用していきたいという回答が多かったです。

その他では、B型事業所などを利用されている方の将来的な希望として一般就労への思いを…また生活介護事業所を利用されている方々は将来的に介護事業所への移行も視野に入れられている方が多く見られました。

【今後、どのような仕事をしたいですか（自由筆記）】

- ・ 簡単な調理やデザートづくり。
- ・ 以前、頑張っていたパン、ラスクの製造。
- ・ 給料は仕事に応じて後から付いてくるものです。まず仕事をさせて下さい。その為には、職員数が足りません。健常者も障害者も頼れるリーダーが居れば一生懸命努力しますので。
- ・ パン作りのすべての工程にかかわって一人でもパン作りができるようにしたいです。
- ・ 簡単で工賃がよい仕事がほしいです。
- ・ 現在は現状維持で十分。
- ・ 安定した生活が送れるならなんでもいい。
- ・ 今のところに通い始めたばかりなので、しばらくはこのままの活動でいい。
- ・ 割り当てではなく、自分が望む仕事がしたい。
- ・ 製造業などの一般就労がしたい。
- ・ 配食の仕込みの仕事がしたい。
- ・ A型事業所で働きたい。
- ・ 家から通えるところで働きたい。
- ・ これからも施設内の作業を頑張りたい。
- ・ これからも合同青果で頑張りたい。
- ・ もう少し難しい仕事をして、給料を増やしたい。
- ・ 今、取り組んでいるキャップやペットボトルのラベルはがしを確実にできるよう自分に合った仕事。
- ・ 継続して仕事があると良い。
- ・ 静かな場所で休む。
- ・ 自分の得意なことを活かしたい。
- ・ 自宅に居ながらできる仕事。
- ・ 一般就労（単純作業）で4～5時間くらいのパート。
- ・ 下請け作業（体力的に外の仕事は苦手）。
- ・ このまま結でがんばりたい。
- ・ 目が見えないので働きたくない。どんな仕事ができるのかと聞かれた。

- ・体調を少しずつでも良くして、足も少しでも良くしていきたい。

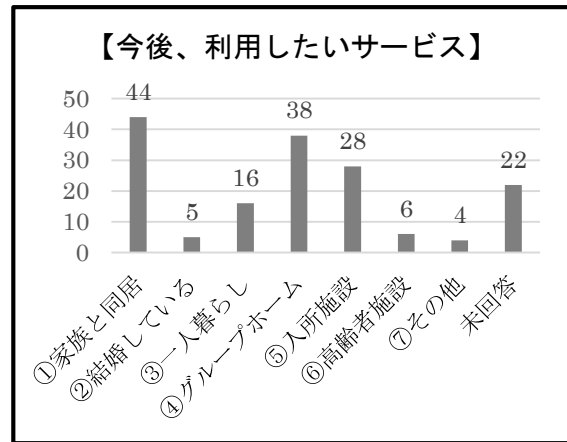
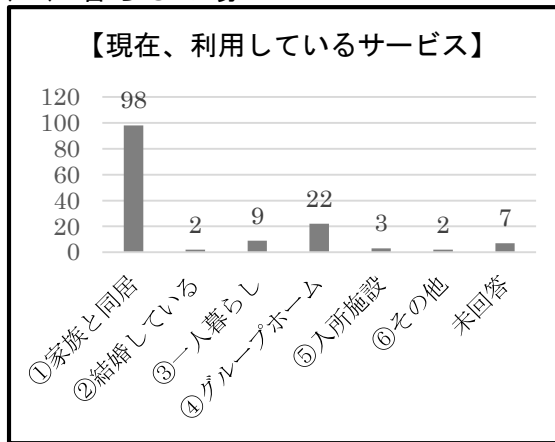
※具体的な職種名で記載があった内容

- ①サービス業 ②花屋（農園） ③パソコン業務 ④工場関係など

【どんな場があればいいですか（自由筆記）】

- ・迷惑を掛けずに少しでも落ち着いて過ごせる場所。
- ・ひかり園や輝湖里のように、まず仲間が毎日楽しく行きたい場所であり続けて欲しいです。その為の専用体育館、グラウンドが欲しい。
- ・今のままでよい。
- ・健康管理の為、運動できる機会の場（2名）。
- ・情報不足で今どんな場があるのか知らないので希望のしようがありません。
- ・作業所の帰りの入浴サービス。
- ・いずれは親元を離れて生活をしてもらいたいと思うので、自立訓練ができる場所があったらいいなと思います。
- ・毎日楽しく元気に利用できる場があれば良いです。
- ・車で服等を買に行ける環境。
- ・収入を増やす為に何をすればいいかという討論の場。
- ・広い仕事場（作業所）。
- ・体を思い切り動かすことの出来る戸外での作業（野菜や果物など）。
- ・職業訓練など手に職がつくような場。
- ・対人関係が良いところ。
- ・トラブルがないところ。
- ・誰に対しても優しく怒らず接してくれるところ。
- ・環境が良いところ。
- ・作業所内で仕事をする人と休憩する人の過ごすスペースを分けてほしい。
- ・友達や利用者と一緒に過ごせる場。
- ・運動してストレス発散。
- ・みんなが集える場所。
- ・スヌーズレン。
- ・B型にいますが療育手帳Aなので、本人が仕事という事を理解しているのか分かりません。仕事が楽しいことだと思えるような毎日にしたいです。
- ・障害者であっても関係なく誰に対しても分け隔てなく接してくれるような優しい場所。
- ・一人になれる場所。
- ・話し相手が父親のみの毎日なので週1回でもサロンのような所（知り合いができる場）に通えるようになってほしい。

(2) 暮らしの場



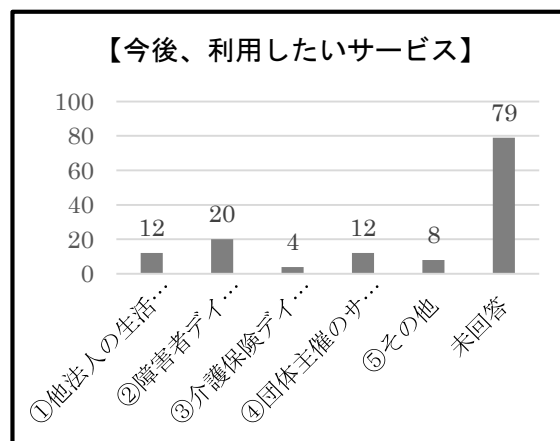
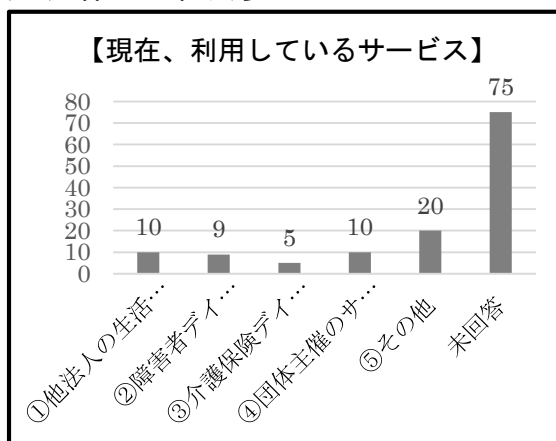
親亡き後を心配されている方が非常に多く、現在、家族と同居をされている方の半数は、将来的にグループホームや入所施設、高齢者施設を希望されるなど将来に対する不安な思いを記載されている内容が多く見受けられます。

【今後、どんな暮らしがしたいですか（自由筆記）】

- ・親亡き後、生活していけるようになりたい。
- ・少しでも自立できるようにしていきたい。
- ・親亡き後の入所施設が必ずあるようにして欲しい。
- ・親が見ていられる間は、親といっしょに住んでいたい。
- ・生まれ育った実家で、長寿の母とともに暮らしたい。
- ・自分でできることを増やしたい。
- ・今のままでいい。
- ・一人で暮らしたい。
- ・サポートを受けながらの一人暮らしがしたい。
- ・今、現在は何も言うことはありませんが、親亡き後は心配です。
- ・仕事をして楽しく余暇がすごせる。
- ・親と離れて自立した生活がしたい（3名）
- ・いつまでも親が介助することは不可能です。しかし医療的ケアが必要なホームや施設を利用することができません。将来ホームや入所施設が利用できるように湖北に看護師常駐のホームか入所施設をつくってほしい。
- ・安心して暮らしたいです。
- ・自己管理して自立した生活をする（サービスには頼らない）。
- ・まだ先の話で実感はないものの高齢者施設を考えている。
- ・普通に暮らせたら良い。
- ・ちゃんと就職して生活と趣味を充実させたい。

- ・自分のリズムで安心して過ごしたい。
- ・家族と離れても安心して住める暮らしを探したい。
- ・入所施設。 ・高齢者施設。
- ・考えたことがない。わからない。
- ・親が病気の時に支援してくれる。
- ・今のホームの生活を維持。
- ・親なき後に支援してもらえる暮らし。
- ・近い将来はできるだけこのままが良い。
- ・親が見切れなくなった将来は施設入所（まだ分からない）。
- ・親と生活ができなくなった時、グループホームに入りたい。
- ・月1回、1泊2日のお泊りをグループホームで実践していただきたい。
- ・60歳頃にホームに入りたい、親が亡くなった後にホームに入りたい。
- ・できれば施設に入所せず家族と同居。
- ・休日に楽しめる場所や買い物に連れて行ってほしい。
- ・自立できるようにしたい。
- ・地域の清掃事業などに臆することなく参加できるようになりたい。
- ・叔母と暮らしている、今と同じ暮らしがしたい。
- ・健康で楽しく暮らしたい。
- ・適度に社会とつながりながら、自分のことは自分一人で全部できるようになりたい。一人でも充実した生活を送りたい。
- ・結婚したい。
- ・友達を作り楽しく暮らす。
- ・家族と自宅で生活。母の介護と子育てをしたい。
- ・子どもと一緒に暮らしたい。
- ・結婚してアパート暮らし。

（３）休日の社会参加



休日のサービス利用に関しては、ひかり福祉会で取り組んでいる事業所が少ないため、イメージしにくかったのか未回答の方が多く居られました。

ただ自由筆記にも記載があるように休日の余暇支援（余暇の取り組み）についての希望は多く、特にスポーツに関する内容が出されていました。

【休日はどのような活動や場があればいいと思いますか（自由筆記）】

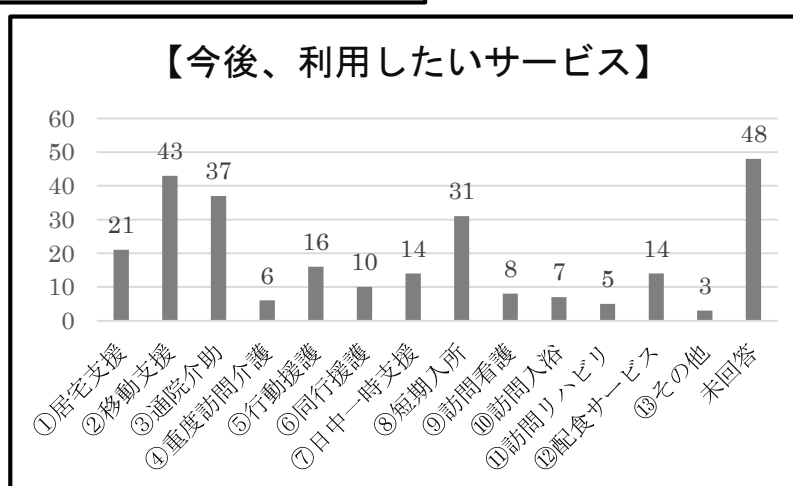
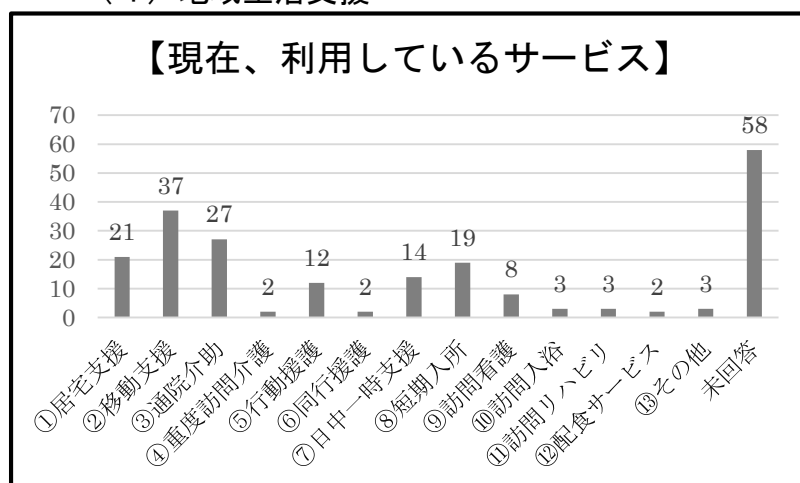
- ・体験教室のように、いろいろなことに調整してみたい。
- ・障害者専用体育館とグラウンドが欲しい。車イスでも伸び伸びとボール遊び。（ドッジボール等）が出来る。自転車に乗ってグラウンドを何周も回ることが出来るなど。
- ・自転車や徒歩で行ける距離に同じような障害のある人たちが集まれる場がほしい。
- ・簡単な体操やダンスなど出来る場。
- ・健常者の方ともいっしょに何かをする。
- ・今は親が付き添って理容院と通院をしているが、今後はサービス利用をする中でやっていきたい。
- ・団体が主催する外出、行事も親以外の介護サービスで参加していきたい。
- ・当事者が集まるサロンやスポーツのできる場。
- ・どんな辛い事があってもまた頑張るぞと思うような催し。
- ・「支援センターそら」のようにゆっくりできる場所。
- ・障害者が気楽に行ける場所。
- ・個々に合った場・スポーツや料理ができる場所
- ・家族抜きで行える活動や遊べる場所。
- ・地域の行事にできるだけ参加。
- ・家族以外とも仲良く活動できる場。
- ・勉強の場。
- ・現在、送迎給食付きのデイサービスを利用させていただき助かっています。今後は就労事業よりデイサービスが増えるのではないかと予想しています。
- ・土曜日はデイサービス、日曜日は朝ゆっくり起きて、昼からゆっくり買い物のスタイルで、今のところは充実しています。
- ・今、利用している作業所は、新しく入ってくる人を除き、長い間一緒に仕事をしている仲間なので、新しい環境で知り合いなことが難しい。話をしたり、一緒に作業するような新しい機会を作れたらと思うが、相手のことを理解したり、傷つけないように話ができるか心配。新しい環境も疲れると思うので負担になりそうで心配もある。
- ・のびのび体を動かすところがほしい。

- ・ 休日はゆっくり過ごしたい。
- ・ みんなで楽しく過ごせる場。
- ・ わからない。
- ・ 今のままのんびり過ごしたい。
- ・ 集団は怖い。1対1からの対人関係を結ぶ練習をしている。
- ・ 本人が行きたいと望む場所に連れて行ってほしい。
- ・ のびのび働きたい。

※具体的な余暇の取り組み内容の希望

①旅行 ②カラオケ ③買い物 ④運動（スポーツ） ⑤映画など

（４）地域生活支援



地域生活支援において、利用頻度が高い「移動支援」や「通院介助」、「短期入所」は将来的な希望も非常に多くありました。現在、ヘルプもあを利用されている方は継続した利用を希望されていますが、短期入所に関しては特に緊急時の利用について希望されている方が多くおられます。

【どんな時に困ったことがありますか（自由筆記）】

- ・ 現在は何とか家族でカバーできています。
- ・ 近くに友だちがいない。
- ・ 友だちを作ろうとしても連絡をする手段がない。
- ・ 今のところありません（3名）。
- ・ （居宅の）予約が取りにくく「今、行きたい！」というときに行動できない。
- ・ 父や母が居なくなった後の出かける時、一人でうまくできないので困る。
- ・ 居宅支援をお願いする際、障害者が重度であると嫌がられる職員の表情を見るとつらい。
- ・ 朝のバス乗り場までの送り。用事がある時、送っていけない。一人で行って待つのが苦痛。
- ・ 利用者が多く希望している日に利用できない。予定があると利用できるが、緊急時には断られる（特にショート）。
- ・ 家族が体調不良になったとき、仕事で忙しい時は本人のことが後まわしになってしまうこと。本人の思いと違う対応をせざるを得ないこと。
- ・ 家族が入院したりした場合、介護が出来なくなる。そんな時ショートステイを利用しようと思っても医療的ケアの必要な娘を預ける場が湖北にはありません。（※1）
- ・ 車の運転に慣れていないので遠方へ出かけるのに困ることがある。
- ・ 町内行事への参加。
- ・ 他利用者との人間関係。
- ・ 急な移動支援や行動援護は利用できないので不便。
- ・ 公共交通機関には気を使う。 ・ 幻聴時。
- ・ 家族が病気の時預かってくれる場所が必要。
- ・ サービスが不足している。 ・ 緊急時の対応
- ・ 病院に行って検査を受ける時。
- ・ 今は父が後期高齢者、2年後には父母が後期高齢者となります。今月1回通院介助してもらい始めました。近いうちに訪問入浴もお願いしなければならないと思っています。
- ・ 母が病気やけがで入院したり、死亡したら頼る人がいなくて困る。
- ・ 雪の日の通勤。 ・ 母が病気したとき。
- ・ 今は配偶者がいて、困った時に助けてもらえるが、遠方に出かける用事がある時、車や電車、バスなど一人で乗れないので心配。
- ・ 私たち（親）がいなくなった時。
- ・ 初めて出会う人とどう接してよいか戸惑う。

- ・気持ちが落ち込んでいる時にサービスを受けたいが、うまくタイミングが合わない時がある。
- ・来客があったときにすぐの対応ができないので困る。
- ・学校に行けず引きこもっているときやショートステイの利用を拒否するとき。
- ・予約が急に入れられない。管理者が変わってから予定の変更ができない。
- ・変更する場合、自力で外出しなければならない。
- ・通院の際、お金がないとき。
- ・重度障害者の家族にとって短期入所や診察は、びわこ学園に頼っているのだから（ここしかない）。
- ・1時間かけていくのは大変。彦根市のサービスは遅れている。清風（せいふう）の人数が増えて予算もついたらと聞いているが、委託されている施設が知的の施設なので少し親の思いとはズレがある。
- ・雪の日は通勤が大変。

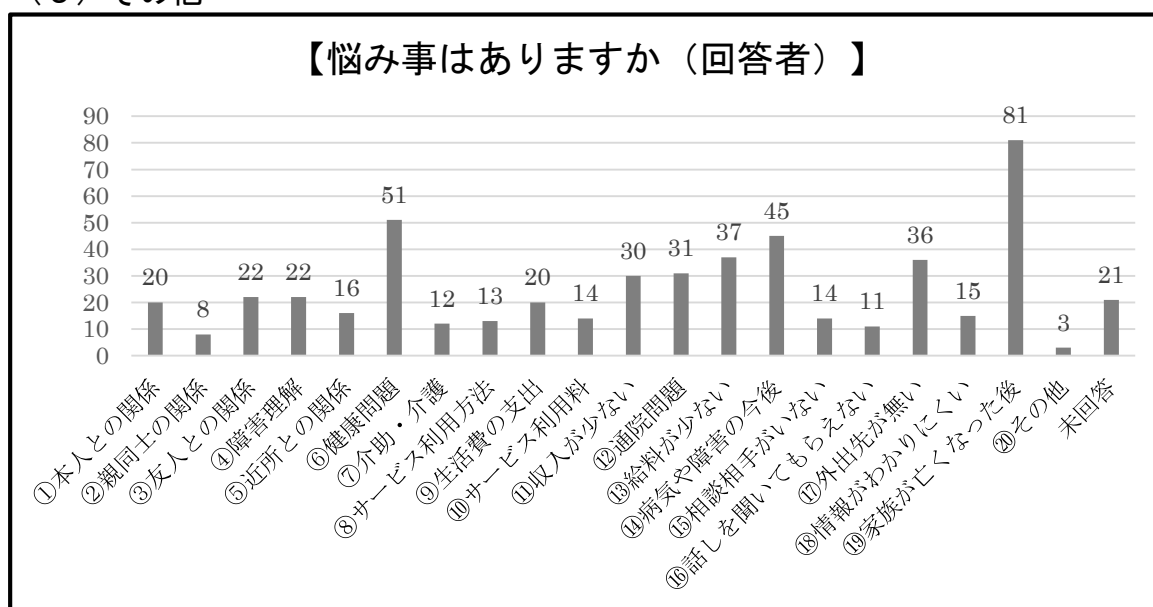
【どんなサービスがあればいいですか（自由筆記）】

- ・これから勉強して情報を集めて、それから…なので今は何とも言えません。
- ・本人が外出することを年々、嫌がるようになっていく。体力が低下しているのも目に見えている。
- ・在学中は担任の先生など相談できる存在は居たが、就学後、全く相談できない。ケアマネのような人が居てくれたらと思う。
- ・実家に帰ったときの食事用意の手伝い。
- ・障害者を支援していただける職員数を増やしてほしい。養護学校当時、障害児2人に先生1人でした。作業所では職員1人で仲間を7人も支援されています。現在、土曜日の開所が月1回ですが、希望者だけでも月2回にしてほしい。
- ・あまり思いつくことがありません。
- ・ショートステイをもっと充実させてほしい。
- ・入院時、完全看護でも付き添いがいる重度のため、本人が入院中ずっと母が病院で一緒にいたのが大変だった。入院時の付き添いサービスが絶対必要。
- ・サービスがこれ以上増えてくれたらとは考えていないが、本人だけではなく一家族を見て柔軟というか臨機応変な対応がしてもらえるようにしてほしい。
- ・夜間に自宅でホームヘルプができると一時的に助かります。
- ・家族関係を修復したい時に間に立ってくれる人がほしい。
- ・仕事量を増やして欲しい。
- ・5時間くらい、いっしょに行動してもらえるサービス。
- ・ヒゲを剃ってくれるサービス。
- ・緊急時、宿泊も含めて預かってほしい。

・サロン

- ・買い物や食事を助けてくれるサービス
- ・顔見知りがいるデイサービスなど
- ・将来のことは予想しにくい部分がありますが、作業所で受け入れられない時が来れば、家にいる場合は、ショートステイかデイサービス、大変になれば施設入所と思っています。入れなければサービスをいっぱい使わせてもらい親子で暮らすことになるのでしょうか。孫が独立すれば、兄夫婦も少しは世話してくれるかな？
- ・急病等の時に、すぐに対応してもらえることを希望する。
- ・入浴が自主的にできにくい為（訪問は本人的には難しい）入浴施設のある所で送迎してもらえる所があるとありがたい。

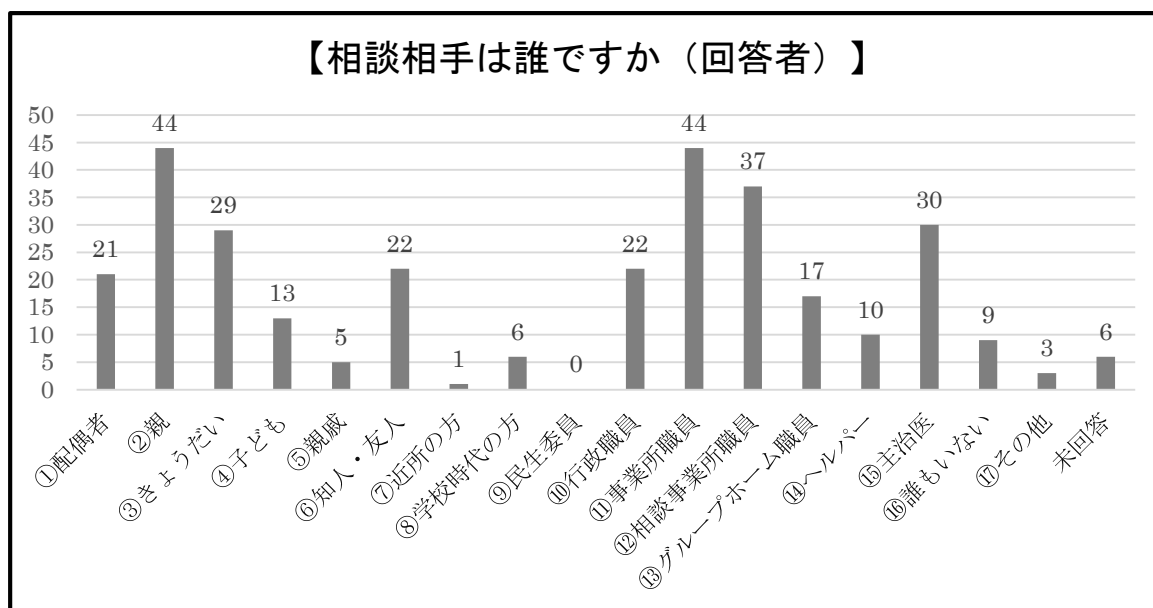
（５）その他



利用されている方の悩みの大半は、（障害のある本人もしくは親の）健康問題や親（支援者）が亡くなった後に対する不安というものでした。

【その他（自由筆記）】

- ・現在は、悩みなし
- ・ひかり福祉会グループホームでショートステイの体験を希望したが、重度の為難しいと言われショックを受けた。重度の者は行くところがない、どうすればいいのか？



【その他（自由筆記）】

- ・ 訪問看護師（２）
- ・ 成年後見人

相談相手の多くは、ご家族が中心でありましたが、同じくらい事業所職員や相談支援事業所の職員（計画相談）があり、職員を心の拠り所とされている方が多いようにも見受けられました。

また相談内容（健康面、サービスの利用方法など）によって、病院関係者（主治医、看護師）や行政職員とも相談されているようでした。

ただ誰も相談できる人がいないと答えられる方も一部居られます。孤独な環境に陥らないよう、心を支える支援も必要になってきています。

３．ひかり福祉社会に期待すること、取り組んでほしいことなど

（１）期待すること（自由筆記）

❖働くこと

- ・ 湖北地域は、まだまだ福祉就労の選択肢が少ないため作業所の拡大・拡張が必要。
- ・ 利用料（自己負担）が多い。
- ・ パンの仕事をいろいろしたい。
- ・ 給料を上げてほしい（４）。
- ・ ひかり園のパンとお菓子の工房を拡充し、直営店舗を開店してもらって、そこで働きたい。
- ・ 通い続けられること。

- ・作業所へ喜んで通所してくれていますが、施設の物を壊したり、仲間や職員を傷付けないか毎日が心配です。
- ・もっとみんなの給料やボーナスを増やしてほしい。
- ・地域に応じた独自事業の展開。
- ・最近、作業所を休む人が多くなったような気がします。我が子も朝は穏やかにしていても帰りには緊張していることがほとんどです。利用者が笑顔で行き笑顔で帰れるように一人ひとりをよく観察し、一人ひとりにあった対応をお願いしたいです。
- ・利用者みんなができる仕事がしたい。
- ・仲間の障害について話し合う時間を作り相手の体と病気の事を共有する時間を作ってほしい。
- ・パソコンを教えてくれる場があるとうれしい。
- ・A型、B型事業所を増やしてほしい。
- ・一般就労したい。
- ・ワークセンター絆で働きたい。
- ・仕事をもっと増やしてほしい。
- ・職員を増やしてほしい。
- ・余暇を充実させてほしい。
- ・本人が楽しく作業できること。
- ・毎日、仕事があること
- ・職員さんや仲間と仲良く仕事を頑張りたい。
- ・本人の機能障害が進行すれば、「作業所が受け入れられない」ようなことを言われた、「だんだんできなくなる＝切り捨て」ということが起きないようにしてほしい。本人の思いを大事にしてほしい。(書面を要約しています。)
- ・今後の症状に応じた自立支援が受けられるようにしてほしい。
- ・賃金を上げてほしい。
- ・HEART WORK 結の移転先が良いところに決まってほしい。
- ・月々の給料がアップしたらいいと思う(年金が下がったり、もらえなくなったら生活に困る)。
- ・わからないことがあれば相談に乗ってほしい。
- ・短時間で働けるところ。

❖暮らすこと

- ・公共施設に障害者の対応をしてくれる職員の配置が少ない。
- ・親兄弟が居なくなった時が一番心配です。
- ・男性のグループホームがもっと欲しい。

- ・仲間の高齢化が進んできました。高齢期を迎えた障害のある人が金銭的不安もなく安心して地域で生活していけるようにしてほしい。
- ・重度の障害がある人のショートステイの利用を定期的にできる場所が近くにほしい。
- ・今まで 33 年間、最重度の娘と家庭で生活を共にしてきたが、あと何年今のままで続けられるか不安であるためショート体験から少しずつ離れるように思うようになったが前項記入のように最重度の者が利用できないとひかり福祉会に言われたのでお先真っ暗です。多人数（の軽度に対して）や、採算を考えた上で障害者を選んで入所させることはひかり福祉会の理念でしょうか？一人ひとりに目を向けて頂きたい。
- ・グループホーム、ショートステイ事業。
- ・移動支援（スタッフ）を充実させてほしい。
- ・グループホームを増やして欲しい（2 名）。
- ・健康な毎日を送りたい。
- ・結婚したい。
- ・重度でも入れるホームがほしい。
- ・今は送迎できるが、年老いたら送迎してほしい。
- ・親なき後が心配なので入所施設を作ってほしい。
- ・緊急時に対応できるショートステイや宿泊施設の充実。
- ・高齢施設の整備。
- ・サービス体制の充実。
- ・親が緊急時、グループホームに入れるようにしてほしい。
- ・今も暮らしの場での困りごとに相談に乗ってもらっているが、今後も社会生活が送れるように援助してほしい。
- ・委託事業をもっと身近に利用できるようにしてほしい。

❖その他

- ・入院中、生活支援担当の方には 1 日おきにお見舞いに来ては、相談に乗るだけでなく事務的な事もしてくださり、大変助かっていますし、力になっています。本当に有り難く感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。またホームを作り、このような仕組みにしてくださった方々にも心から感謝します。ありがとうございました。
- ・今年は社会人 1 年生で右も左も分からず希望と言っても何も分かりません。「今の生活に慣れる！」そこからのスタートです。来年、再来年あたりに要望が出てくるかもです。
- ・親亡き後の問題が心配。

- ・ もっと優しい親になってほしい。
- ・ ひかり福祉会を支えてこられた方が去って行かれるときにさみしさを感じる。
たとえ人が変わろうともひかり福祉会の理念は変わらず受け継いでほしいと願っています。
- ・ 配食の事業を存続してほしい。
- ・ 今もこれからも福祉会に期待などしない。
- ・ 職員にこの仕事を始めた志を聞いてみたい。
- ・ 障害者の事が分かるスタッフを増やして欲しい。
- ・ 用事があるとき、延長できるようにしてほしい。
- ・ このまま安定した事業継続。
- ・ 体を動かす取り組み。
- ・ ゆっくりできる時間と空間（本、音楽、絵）。
- ・ 利用料の負担がこれまで以上にかからないよう、福祉会を通して訴えかけてほしい。
- ・ 役員と職員間の意見交換が自由にでき、職員の意見が取り上げられるようになってほしい。
- ・ ヘルパーを増やして下さい。予約の際、融通を聞いてほしい。

（２）取り組んでほしい事業（自由筆記） ※施設整備やサービス

❖働くこと

- ・ 実際、毎日どのように仕事をして、どう過ごしているのか保護者としては分かっているようで、知らないことが多いです。まず仕事内容や昇給内容など仕事をしていないときの過ごし方を知りたいです。
- ・ 送迎料金が無くなるようになれば助かる。
- ・ 障害者を支援してくださる職員数を増やしてほしい。
- ・ 営業ができるパン屋さんにしてほしい。
- ・ 自立訓練、就労移行支援に関わる事業の充実。
- ・ 市場に冷暖房を充実させてほしい。
- ・ A型、B型事業所を増やしてほしい。
- ・ 給料を上げてほしい。
- ・ 障害者の雇用制度を充実させてほしい。
- ・ 安定した仕事の確保。
- ・ 楽しんで働ける仕事の充実。
- ・ HEART WORK 結の移転先が良いところに決まってほしい。
- ・ 新しい結の移転先の場所が心配。あまり遠くならない、皆が困らない場所にしてほしい。

- ・作業室を広くしてほしい。
- ・車いすの利用者の送迎。

❖暮らすこと

- ・グループホームを増やしてほしい（3名）。
- ・ホームヘルプ事業を拡充してほしい。
- ・いざという時に一時的に入れるホームがあれば安心。
- ・高齢になっても入れる施設をつくってほしい。
- ・親亡き後はグループホームへ入所となるシステムを作ってほしい。24 時間見ていただける看護師。
- ・介護士が常駐されているホームが望みです。
- ・ショートステイが、もう少しこじんまり（GH 的）していればいい。
- ・入所施設をつくってほしい。
- ・一人暮らしができるホームをつくってほしい。
- ・一人ひとりが希望する暮らしが出来ているか考えて、利用できるサービスを提案して欲しい。また、行政にも要望していきたいので学習もしていきたい。
- ・グループホーム 家族と離れて暮らす場所
- ・医療的ケアの必要な重度の障害者のための看護師常駐のグループホームを湖北につくってほしい。親が高齢化してきた今、切に願っています。娘の将来を思う時、今一筋の光も見出すことができません。よろしくお願い致します。
- ・グループホーム環境の充実
- ・移動支援やショートステイ（短期入所）の充実。
- ・学童保育のような施設。
- ・暮らすことに重点を置いています。男子のグループホーム（個室）が希望です。
- ・買い物。
- ・一人暮らしができるように。

❖その他

- ・何十年か前「我が子が可愛くない親は無い」まして障害を持ったこの子らの親亡き後をと切々と訴えられていた保護者のことが、今、歳を取りこの身に伝わってきます。私も主人の妹弟2人に関わってきましたが、義妹は病気で入院中です。入院が3ヶ月を超えると作業所もホームも縁が切れて今まで支えてくださった人たちとも縁が切れると思うと本人も私も寂しく辛いです。私も歳を取り身体がしんどく病院へ行ったり薬を飲んだりして頑張っています。私がこの2人を見送らずに先に死んだら私の子どもに頼まねばなりませんし、

姪や甥は嫌がると思いますし、迷惑を掛けたくありません。前理事長は、この子らの墓のことまで考えていると言われたことがあります。どうか後を継がれた方々は大変な事かと思いますが、本人や家族が安心して死んでいけるような計画を検討してくださいますようお願いします。

- ・実家へ帰ったときの通所サービス。
- ・スタッフの確保と生活の保障（給料）を充実させていってください。支えて下さる方あっての利用者、当事者、家族でもありますので。
- ・将来に向けての施設やサービスの勉強会。
- ・ショートステイが利用できるように。
- ・たばこの煙が室内に入らないように、移転先は室内に煙が入らないようにしてほしい。
- ・ひかり福祉会の組織、財政、経営等々について「大丈夫か」、「あぶないで」との話をあちこちで聞きます。子どもを預けるのに、ひかり福祉会なら安心と思い、そう信じていたのに、今になってこのようなことを聞くと不安でたまらない。第6次将来計画は、ひかり福祉会の健全化に取り組んでほしい。
- ・結のトイレを増やしてほしい。結の作業室を広くしてほしい。
- ・サービスを使うようになり助かっている。これからもお願いしたい。

ひかり福祉会【第6次将来計画】
アンケート結果報告書

❖2017（H29）年 09 月

❖発行者／ひかり福祉会 第6次将来計画検討委員会

TEL：(0749) 63-5711 FAX：(0749) 68-0148



①ひので作業所

- 事業(定員)：生活介護事業(20名)
日中一時支援事業(1名)
- 認可日：1997年6月1日
- 所在地：〒526-0802
長浜市東上坂町828-5
- 連絡先：TEL 0749-63-5663
FAX 0749-63-5636



作業の様子



座椅子づくり

小規模でゆったりとした時間を大切にしています。軽作業を中心に据えつつ、散歩や音楽療法・スノーズレンなど療育的活動や身体機能の維持向上の為の活動を積極的に取り組んでいます。

②ひかり園

- 事業(定員)：就労継続支援B型事業(15名)
生活介護事業(20名)
日中一時支援事業(1名)
- 認可日：1976年10月1日
- 所在地：〒526-0822
長浜市鳥羽上町68-1
- 連絡先：TEL 0749-63-5606
FAX 0749-65-4497



総菜パン



焼き菓子

利用者の方が働く中でやりがいや達成感、生きがいを感じられるよう、一人ひとりにあった働く環境づくり、安定した生活づくり、明確な目標のもてる仕事づくりを目指すほか、障害の特性に応じて、自然の中でゆったりとした療育活動を行っています。

また作業は、パンの製造・販売及び焼き菓子の製造・販売を行っています。

③輝湖里(きこり)

●事業(定員)：生活介護事業(20名)

●認可日：1994年4月1日

●所在地：〒526-0822
長浜市鳥羽上町68-1

●連絡先：TEL 0749-63-5606
FAX 0749-65-4497



作業の様子(青果)



作業の様子(チラシ折り)

ひかり園と併設されています。

作業は、主に青果の袋詰め・ぼかし作りをしています。青果作業では、じゃがいも、たまねぎ、にんじん等の計量・袋詰めをしています。また、牛乳パックの回収も行っています。

④友愛ハウス

●事業(定員)：就労継続支援B型(20名)

●認可日：2001年4月1日

●所在地：〒526-0835
長浜市室町396-2

●連絡先：TEL 0749-65-7830
FAX 0749-65-7893



作業の様子



作業の様子

一人ひとりの障害や病状に配慮し、目的・目標に合った形の出勤形態や就労事業の提供を行います。

湖北地域(長浜・米原市)のお昼のお弁当を製造、配達している配食サービスと、法人内事業所の給食を製造、提供する給食提供サービスを行っています。

⑤ワークセンター絆

- 事業(定員) : 就労継続支援B型(20名)
- 認可日 : 2001年4月1日
- 所在地 : 〒526-0835
長浜市室町396-2
- 連絡先 : TEL 0749-65-3304
FAX 0749-65-7893



作業の様子(青果)



作業の様子(自動車部品)

友愛ハウスと併設されています。

自動車部品の組み立て作業や、長浜合同青果内での野菜・果実等の袋詰め作業(出向作業)を中心としながら、利用者一人ひとりの目的や体調、出勤形態等に合わせた作業(作業工程)の提供や集団の編成等を行っています。

⑥セルプひこね

- 事業(定員) : 生活介護事業(30名)
- 認可日 : 1997年4月1日
- 所在地 : 〒522-0022
彦根市里根町191-7
- 連絡先 : TEL 0749-23-7844
FAX 0749-23-7845



音楽療法の様子



手作りジャム

利用者の障害の特性や、個々の願いに応じた仕事や創作活動を通し、地域社会に参加できるよう生活介護のサービスを行っています。一日を通して生産活動をするグループ・ワークの取り組みや、午後は、療育的活動を中心にしたグループなど、ほどよく働いて、ゆったり過ごせる活動を実施しています。

⑦たんぽぽ作業所

- 事業(定員)：就労継続支援B型(15名)
生活介護事業(20名)
- 認可日：1979年2月1日
- 所在地：〒529-1155
彦根市賀田山町522-1
- 連絡先：TEL 0749-25-2446
FAX 0749-28-2424



作業の様子



手作り豆腐とプリン

手作りとうふの製造販売と企業からの下請け作業を中心に、個々の障害や年齢に配慮した作業訓練にも取り組んでいます。また花見・旅行・ふれあいまつり・餅つき&クリスマス会などの行事を計画的に行っています。

⑧工房ふれっしゅ

- 事業(定員)：就労継続支援B型(15名)
- 認可日：2008年4月1日
- 所在地：〒529-1155
彦根市賀田山町760-2
- 連絡先：TEL 0749-28-2868
FAX 0749-28-9470



作業の様子



現場の様子

厳選された素材だけを使用し、生地作りに時間をかけ、1枚1枚丁寧に焼きあげています。一人ひとりにあった仕事を提供していきながら、利用者の工賃アップをはかり、仕事を通して、多くの人と出会い、働く喜びや達成感を感じられる、やりがいの持てる事業をめざしています。

⑨彦華堂(げんかどう)

- 事業(定員) : 就労継続支援B型(10名)
- 認可日 : 2012年7月1日
- 所在地 : 〒522-0064
彦根市本町1丁目7-4
- 連絡先 : TEL 0749-26-3214
FAX 0749-26-3241



手作りクッキー



ギフト用にもどうぞ

彦根夢京橋キャッスルロードから、少し入った場所にあるお店です。店に入ると、手作りの焼き菓子を販売しており、奥は、会話を楽しんだり、ゆっくり休憩したりできる可愛いカフェになっています。お持ち帰り用のクッキーなども種類豊富にそろえています。

⑩HEARTWORK 結

- 事業(定員) : 就労継続支援事業B型(30名)
- 認可日 : 2002年10月1日
- 所在地 : 〒522-0056
彦根市開出今町1492
- 連絡先 : TEL 0749-24-7594
FAX 0749-24-7595



作業室の様子



作業の様子

病気や障害により、生きづらさを抱える人たちの「社会参加がしたい」「一般就労に向けた訓練がしたい」という願いや将来の目標が実現できるように、日課や活動、仕事を通して、生活リズムの確立や働く力の向上に取り組んでいます。

※2020年4月移転予定

⑪ヘルプもあ

- 事業(定員)：居宅介護
(身体介護・通院等介助・家事援助)
重度訪問介護、行動援護
地域生活支援事業(移動支援)
福祉有償運送事業
- 認可日：2015年10月1日
- 所在地：(彦根営業所)
〒529-1155 彦根市賀田山町522-2
(長浜出張所)
〒526-0835 長浜市室町263-5
- 連絡先：TEL 0749-49-3788
FAX 0749-47-4870



一人ひとりの自分らしい暮らしの実現に向けて、
きめ細やかなサービスを提供します。
一人では難しくても、誰かと一緒なら、出来るかも…
誰かが少し手伝ってくれたなら…

※2020年4月移転予定

その他の事業所

相談支援事業所

- ⑫障害者支援センターそら
〒526-0835 長浜市室町396-2
TEL 0749-68-2255
FAX 0749-68-2256
- ⑬働き・暮らしコトー支援センター
〒522-0054 彦根市西今町87-16 NaSu8
TEL 0749-21-2245
FAX 0749-21-2246
※2020年4月移転予定
- ⑭相談支援センターあおい
〒522-0054 彦根市西今町266-1 A202
TEL 0749-47-6406
FAX 0749-47-6407
※2020年4月移転予定

湖北グループホーム(定員)

- ⑮長浜かざぐるまホーム(7名)
- ⑯長浜里の家(5名)
- ⑰米原堂の家(5名)
※短期入所事業(1名)

湖東グループホーム(定員)

- ⑱ひこねたんぼぼホーム(5名)
- ⑲ひこね七里ホーム(7名)
- ⑳ひこね芹川ホーム(5名)
- ㉑ひこねなでしこホーム(7名)

法人本部・法人事務センター

〒526-0822 長浜市鳥羽上町 68-1
TEL 0749-63-5711 / FAX 0749-68-0148
<http://www.hikari-fukushi.net/>

社会福祉法人 ひかり福祉会
第6次将来計画報告書

2018(H30)年4月1日 発行

発行/社会福祉法人 ひかり福祉会
法人本部・法人事務センター

〒526-0822 滋賀県長浜市鳥羽上町68番地1 ひかり園内
TEL(0749)63-5711 FAX(0749)68-0148
E-mail info@hikari-welfare.net

印刷/株式会社フロッグハンス
〒526-0831 滋賀県長浜市宮司町558番地10

第 6 次将来計画検討委員会

【会議日程】

第 1 回	2017(平成29)年 6月23日(金)
第 2 回	2017(平成29)年 8月 8日(火)
第 3 回	2017(平成29)年10月12日(木)
第 4 回	2017(平成29)年11月14日(火)
第 5 回	2017(平成29)年12月 5日(火)
中間報告会	2017(平成29)年12月 9日(土)
第 6 回	2017(平成29)年12月28日(木)
第 7 回	2018(平成30)年 1月30日(火)
研究集会	2018(平成30)年 2月24日(土)
第 8 回	2018(平成30)年 3月 7日(水)
第 9 回	2018(平成30)年 3月27日(火)

【検討委員】 (五十音順:敬称略)

- ❖磯崎 俊伸 (ひので作業所)
- ❖伊吹香代子 (働き・暮らしコトー支援センター)
- ❖川崎 昭仁 (ひかり福祉会)
- ❖鈴木 増美 (事務センター)
- ❖辻 礼子 (ヘルプもあ)
- ❖出川 紳吾 (生活支援)
- ❖西尾 知子 (HEART WORK 結)
- ❖畠中 教匡 (セルプひこね)
- ❖春近 環 (友愛ハウス)
- ❖藤居 潤 (たんぽぽ作業所)
- ❖藤野 信敏 (たんぽぽ作業所)
- ❖森本 義彦 (生活支援)
- ❖山本 寛 (工房ふれっしゅ)

「ヒューマンパワー」

“地域の中で活動する明るく躍動感あふれる障がい者と、それを支える人々”がテーマです。

私たちは、障がいがあるなしにかかわらず、だれも(人)が主人公で、

それを支えていくのも人だと考えてきました。

そんな思いを同じくする人の力(ヒューマンパワー)に支えられ、
いつでもひとりひとりがひとりひとりを思いやる気持ちを大切に、

あらゆる取り組みを進めてきました。

“ひとの力の渦をもっと大きく広げ、もっとたくさんのひとを巻き込んでいきたい”

ひかり福祉会は、人の力の渦の発信源をめざします。

これらを実践する人のかたちをモチーフに展開しました。

人を彩った5つのカラーは、それぞれ次の意味を表現しています。

レッド …… 生命力

パープル …… 個性

グリーン …… 健康



オレンジ …… 発信

ブルー …… 自由

そしてバックのイエローの渦は人のパワー、エネルギーを表しています。



社会福祉法人 **ひかり福祉会**

法人本部・法人事務センター

〒526-0822

滋賀県長浜市鳥羽上町68番地1 ひかり園内

TEL / (0749) 63-5711 FAX / (0749) 68-0148

URL / <http://www.hikari-fukushi.net>

E-mail / info@hikari-welfare.net